

パブリックコメントの実施状況等について

令和 2 年 1 月 2 7 日
あきた未来戦略課

第 2 回有識者会議で「第 2 期あきた未来総合戦略の策定作業を進めるに当たり、関係諸団体や県民から意見を聴取していただきたい」旨のご意見をいただいたことを踏まえ、次のとおりパブリックコメント等を実施した。

1 パブリックコメント（県民意見提出手続き）の実施状況について

○ 令和元年 1 2 月 2 0 日（金）から令和 2 年 1 月 2 0 日（月）までの期間でパブリックコメントを実施し、県民からの意見を募集した。その結果は次のとおり。

（1）意見の総数 4 1 件

（2）主な意見及びその概要

【基本目標 1】産業振興による仕事づくり

- 秋田に帰るためのネックは仕事。企業が少なく、収入も低い。娯楽が少ないのは仕方ないとして、もっと企業誘致に力を入れて欲しい。
- 事業承継にもっと力を入れて欲しい。「こういう業種・職種で後継者を探しています」と P R することで、秋田に移住してもらえる契機にもなるのではないかな。
- 秋田にも仕事はたくさんあるが、都会とは賃金格差がある。自家用車の費用・冬場の光熱費を考えれば、都会より生活費が大幅に下がると言い切れない。若者が学んだことを生かし、対価にも納得して働けるような仕事を増やして欲しい。
- 県内の観光施設には「来たい人だけ来ればいい」という意識を持つところがある。外国人の受入れを好まないところもあり、意識改革が必要ではないかな。
- 地方における外国人材の受入拡大に向け、中小企業が受入れに関し負担する諸経費に支援するとともに、外国人労働者に対する日本語学習機会の充実が必要ではないかな。

【基本目標 2】新しい人の流れづくり

- 秋田に縁のない方に移住してもらうには、金銭的支援が必要。新築・リフォーム助成 1, 000 万円、妊婦健診・出産費用無料、高校卒業まで医療費・学費無料など、思い切った取組が必要ではないかな。
- 山村留学や首都圏高校生との交流は、関係人口増加につながるとともに、秋田の良さを見直すきっかけになると思うので、積極的に行って欲しい。
- 秋田は一人一人に目が届く教育ができており、子育てサポートも充実しているので、ひとり親家庭でも暮らしやすいことを P R すれば、A ターンにつながるのではないかな。

【基本目標 3】結婚・出産・子育ての希望をかなえる社会づくり

- 女性・若者の活躍のために、紙おむつ費用の助成、延長保育料の助成、日曜日にも預けられる保育所の整備が必要。また、中堅職員の育休期間に代替要員を雇用する場合の、企業への人件費補助も必要。

- 県では不妊治療の助成をしていると思うが、不妊治療をしている方は「子どもが欲しい」と思っている方なので、ぜひサポートを続けて欲しい。

【基本目標４】新たな時代に対応した地域づくり・人づくり

- 子ども食堂は、運営体制を最初にしっかり確立できれば、子ども・その親だけでなく、高齢者等も活躍し、集える場として運営していけるのではないかな。秋田だからこそ、各方面にメリットのある運営ができるのではないかな。

2 関係団体等からの意見聴取について

- 令和元年１２月下旬から令和２年１月下旬までの期間で、各部局が関連団体から意見聴取を実施した。主な意見の概要は次のとおり。

（１）意見の総数 ４０件

（２）主な意見及びその概要

〔産業・経済関係団体〕

- 企業競争力の強化に当たっては、小規模事業者の付加価値向上や、人手不足解消等の支援が必要ではないかな。
- 女性が活躍し続けられる職場づくりの推進に向け、「男性の家事・育児への参画、働き方改革に取り組む企業の支援充実」を盛り込む必要があるのではないかな。
- 海外展開の推進に当たっては、小規模事業者に対し、海外取引を行っている企業との、販路拡大に向けたマッチング支援が必要ではないかな。

〔観光関係団体〕

- クルーズ船の寄港回数の増加は良いことだが、県内各地域への経済波及効果が小さいという課題があり、多くの場所を周遊してもらえるような取組が必要ではないかな。
- 県内宿泊施設の従業員不足は最重要課題であり、観光部局・産業部局が連携して、官民を挙げた外国人材の積極的な活用を進めるべきではないかな。
- 国際チャーター便の誘致・利用促進について、県内市町村・観光協会が一体となり、取組を強力に進める必要があるのではないかな。
- 観光客だけでなく、県民も使いやすい公共交通づくりが必要。また、宿泊施設が民間車両を活用し、有料で送迎できるような規制緩和が必要ではないかな。

〔その他の団体〕

- 障害者が安心して生活できる環境づくりに向けては、就労先・賃金の確保等、就労環境の整備が不可欠であり、こうした視点を盛り込んで欲しい。
- 児童虐待が年々増加する中、「子どもの貧困対策の強化」だけでなく、「子どもの人権尊重の啓発促進」も盛り込んでいく必要があるのではないかな。